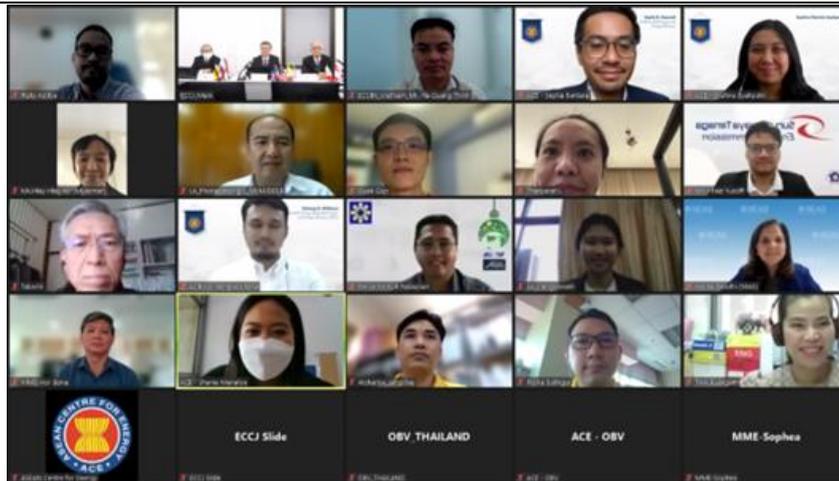


令和4年度 ASEAN向け AJEEP Scheme 4 第3回 中間ワークショップを実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、資源エネルギー庁の委託を受けて、令和4年度のASEANに対する省エネ人材育成事業のAJEEP Scheme 4プログラムの第4弾として、令和5年2月6日、ASEAN 10カ国政府の省エネ政策・制度関係者を対象に、ASEAN共通標準エネルギー管理士研修プログラムに関する第3回中間オンラインワークショップを開催しました。



1. 目的：今年度より新たに開始したAJEEP Scheme 4は、ASEANのCommon Standard Module（共通標準エネルギー管理士研修プログラム）を策定し、SAEMAS（持続的ASEANエネルギー管理士認証システム）を構築する為の支援を実施します。今年度は、各国のエネルギー管理士制度・研修プログラムとAJEEP TOT並びにAEMAS（ASEANエネルギー管理認証システム）での研修内容を比較検討して報告書（Comparative Report）を作成すると共に、Common Standard Moduleの草案を作成する計画です。そのために、11月に実施したECAP27での議論を踏まえて、各国からこの制度に関係する2-3名の政策担当者や技術専門家を任命してワーキンググループ（WG）を作り、オンライン中間ワークショップ（WS）を3回開催することとし、昨年12月、今年1月に続き、今回2月6日に第3回中間WSを開催しました。
2. WS出席者：参加者は、WGメンバーとしてASEAN各国から政策担当者を中心に17名、ACE (ASEAN Centre for Energy)から6名の合計23名が、またECCJからは7名が参加しました。
3. WS概要：
 - (1) ASEAN各国からのエネルギー管理士制度・研修プログラムとAEMASとAJEEP TOTの研修プログラム概要の比較表（Comparative Tables）をベースとして、各国でのエネルギー情勢も含めて各種分析を加えたComparative ReportをACEより報告し、各国参加者の確認を取りました。
 - (2) SAEMASのCommon Standard Moduleの構成案・主要項目案をECCJより提案し、各国と活発な意見交換を実施しました。また、この中の一部に、ACEとタイからのModule案を織り込む予定です。
 - (3) 次回はオンラインセミナーを2月24日に開催し、Comparative Reportの最終版とCommon Standard Moduleの構成・主要項目の最終草案を報告する予定です。

* ECAP : Energy Conservation Workshop under AJEEP (ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership)
ASEAN-日本エネルギー効率パートナーシップのもとに実施される受入研修